

N E C

Express5800 シリーズ

ESMPRO®/ACBlade マルチサーバオプション

Ver5.2

1 ライセンス / 6 ライセンス

UL1046-405

UL1046-415

UL1046-H405

UL1046-H415

UL1046-J405

UL1046-J415

セットアップカード (06 版)

ごあいさつ

このたびは ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション Ver5.2をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本書は、お買い上げ頂きましたセットの内容確認、セットアップの内容、注意事項を中心に構成されています。ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション Ver5.2をご使用になる前に、必ずお読みください。

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

CLUSTERPRO、ESMPRO は、日本電気株式会社の登録商標です。

Smart-UPS、PowerChute、APC は、Schneider Electric Industries SAS またはその関連会社の登録商標または商標です。

VMware ESX、VMware ESXi は VMware, Inc の登録商標もしくは商標です。

その他の会社および製品の名称は、総てそれぞれの所有する登録商標または商標です。

目次

第1章	製品内容.....	4
第2章	セットアップの準備.....	5
2.1	ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのセットアップ環境.....	5
2.2	Express5800/BladeServer へのセットアップに関して.....	6
2.3	Express5800/BladeServer のHW セットアップに関して.....	6
第3章	セットアップの方法.....	7
3.1	ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのインストール.....	7
3.2	ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのアンインストール.....	12
第4章	DeploymentManager を使ったインストール方法.....	16
第5章	注意事項.....	18
5.1	セットアップ関連.....	18
5.2	共有フォルダ関連.....	18
5.3	ウィルススキャンソフト関連.....	19

第1章 製品内容

ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション Ver5.2のパッケージの内容は、製品に同梱の「構成品表」に記載されています。

添付品が全部そろっているかどうか、確認してください。

第2章 セットアップの準備

ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションをご使用になるためには、マルチサーバ構成内に管理サーバとして ESMPRO/ACBlade 管理オプション Ver5.2以降がセットアップされているサーバが必要です。ESMPRO/ACBlade 管理オプションのセットアップ方法は ESMPRO/ACBlade 管理オプションのセットアップカードを参照してください。

2.1 ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのセットアップ環境

ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションをセットアップするためには、次の環境が必要となります。

<ハードウェア>

対象機種 : Express5800/BladeServerシリーズ、
iStorage NSシリーズ (ブレードタイプのみ) ※1

メモリ : 7.5 MB 以上

固定ディスクの空き容量 : 5.5 MB 以上

<ソフトウェア>

Windows Server 2016 Standard/Datacenter

Windows Server 2012 R2 Standard/Datacenter

Windows Server 2012 Standard/Datacenter

Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise

Windows Server 2008 Standard/Enterprise

VMware ESXi 5/6 ※2

※ ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションをx64のOSで動作させる場合、WOW64がサポートされている必要があります。

※ Windows Storage Server 2016/2012 R2/2012/2008 R2/2008は、iStorage NSシリーズのみに対応しています。

<http://jpn.nec.com/istorage/product/nas/ns/lineup.html>?

※1 以降では、iStorage NSシリーズ (ブレードタイプ) をExpress5800/BladeServerと同等として説明しております。そのため、iStorage NSシリーズ (ブレードタイプ) をご使用の場合は Express5800/BladeServerをiStorage NSシリーズ(ブレードタイプ)と読み替えて、セットアップ作業を行ってください。

ただし、WebSAM Deployment Managerなど、説明中で使用しているESMPRO/AC製品以外の製品については、iStorage NSシリーズへの対応状況等を、別途ご確認ください。また、ご使用ください。

※2 Express5800/BladeServer シリーズにVMware ESXiをインストールし、ESMPRO/ACBlade 管理オプションによる電源管理/自動運転を行う場合、以下の注意事項があります。

- VMware ESXi の電源制御を行う際、VMware ESXi に使用するライセンスに条件が発生します。ESXi Hypervisor エディション等の無償版ライセンス製品では、電源制御が行えません。Standardエディションなど有償ライセンス製品をご利用ください。
- 仮想サーバ(ESXi)および(ESXi上で動作する)仮想マシンには、電源制御ソフトウェアのインストールは不要です。制御端末のライセンス管理ツールにてESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのライセンスキーを登録してください。

最新の動作環境については、本製品のご紹介サイトでご確認ください。URL 情報は製品添付品をご確認ください。

2. 2 Express5800/BladeServer へのセットアップに関して

Express5800/BladeServerへESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションをセットアップする方法として、2通りの方法があります。ご利用の環境に応じて選択してください。

- I. Express5800/BladeServer にCRT、キーボード、マウス、CD-ROM ドライブを接続してローカルインストールする方法。
→ 「第3章 セットアップの方法」に従ってセットアップしてください。
- II. WebSAM DeploymentManager (以降、DeploymentManager と記載) のアプリケーションの自動インストール機能を利用して、OS インストール時に自動インストールする方法。
→ 「第4章 DeploymentManager を使ったインストール方法」の項を参照してください。

2. 3 Express5800/BladeServer のHW セットアップに関して

(1) システムBIOSの設定に関して

Express5800/BladeServerをESMPRO/AutomaticRunningController製品群で自動運転するために必要な設定を行ってください。

システムBIOSの変更方法に関しては、Express5800/BladeServerシリーズ本体装置に添付のマニュアルを参照してください。

(ア) AC-LINKの設定

Express5800/BladeServerへESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションをインストールし、連動サーバとして使用する場合は、[Stay OFF]を設定します。

(イ) リモートパワーオンの設定

Wake On LANによる起動ができるように、BIOS設定においてWake On LANの設定を有効にしてください。サーバ基盤表面などに貼られた MACアドレスを記載したシール、またはDeploymentManagerの設定情報などを確認して、MACアドレスを確認/控えておいてください。

第3章 セットアップの方法

※注意

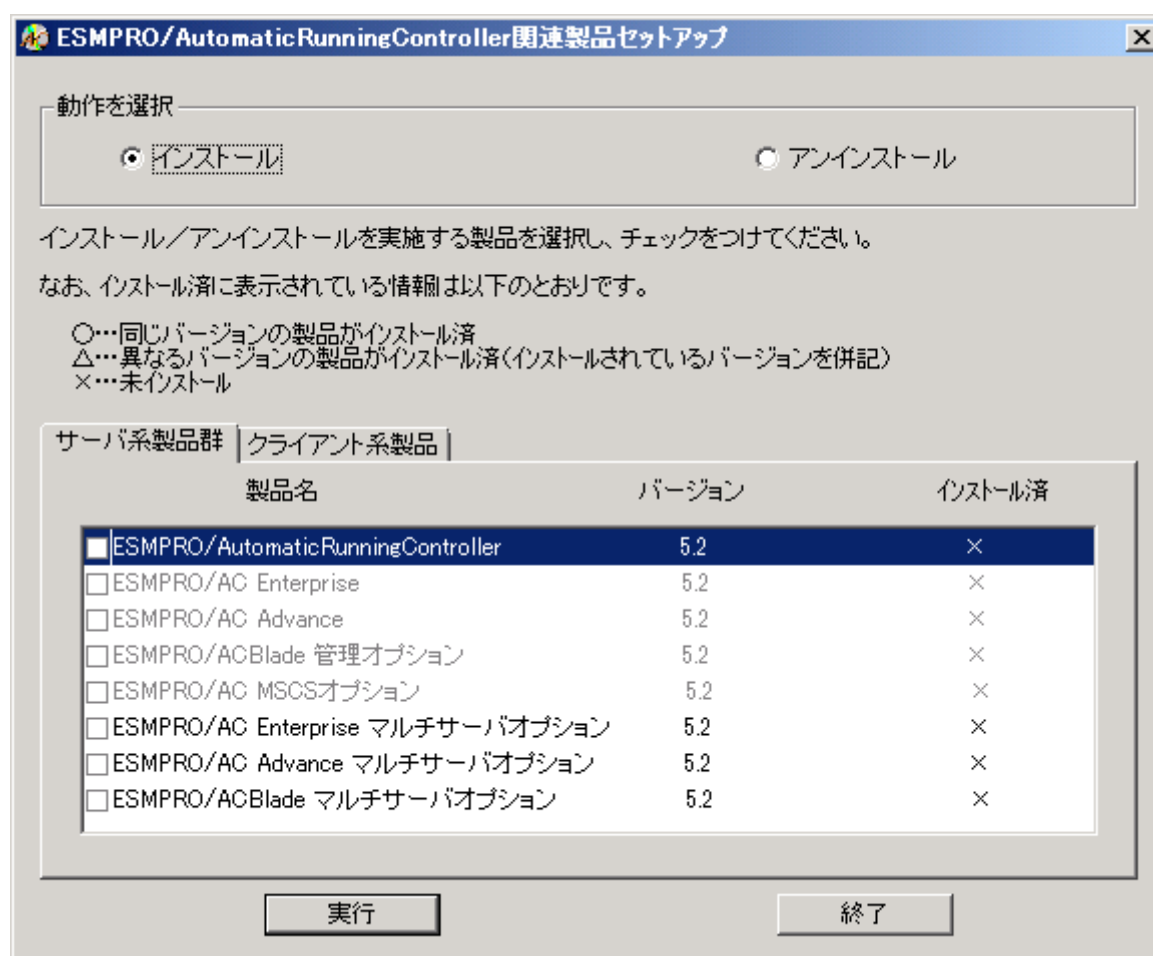
対象サーバにVMware ESXi をインストールしている場合、以下のセットアップ作業は不要です。製品添付のライセンスキーの登録を行ってください。

ライセンスキーの登録は、ESMPRO/ACBlade 管理オプションをセットアップした制御端末上の[スタート] → [すべてのプログラム] → [ESMPRO/AutomaticRunningController] → [ESMPRO_AC ライセンス] から行ってください。

ライセンスキーの登録方法については、ESMPRO/AutomaticRunningController のセットアップカードを参照してください。

3.1 ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのインストール

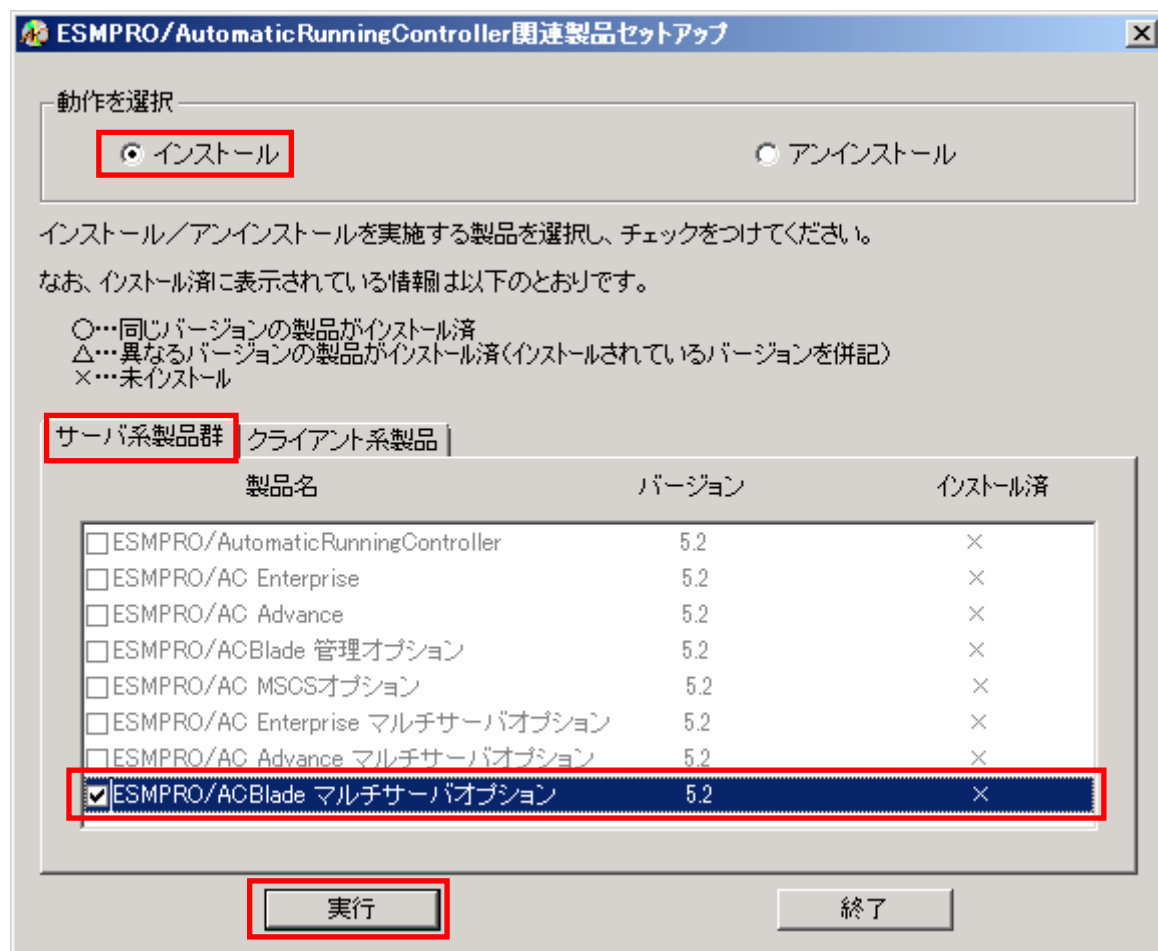
- (1) AdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータにログオンし、ラベルに『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.2』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。



異なるバージョンの製品がインストールされている場合、インストール済の欄に△(バージョン)が表示されています。

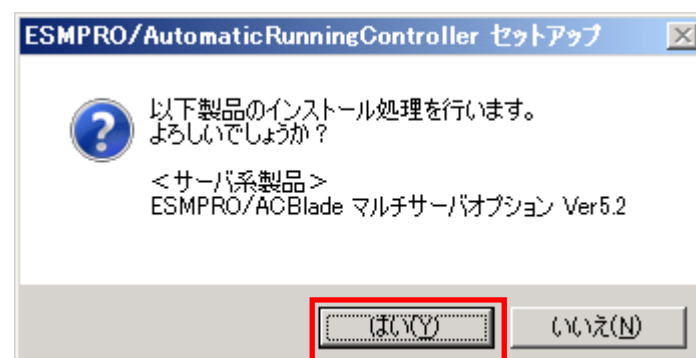
下位バージョンからのバージョンアップインストールを実施される場合は、通常のインストールと同様に行ってください。その際、設定内容はそのまま引き継がれます。

- (3) 「動作を選択」のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中からESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションを選択し、チェックを有効にします。

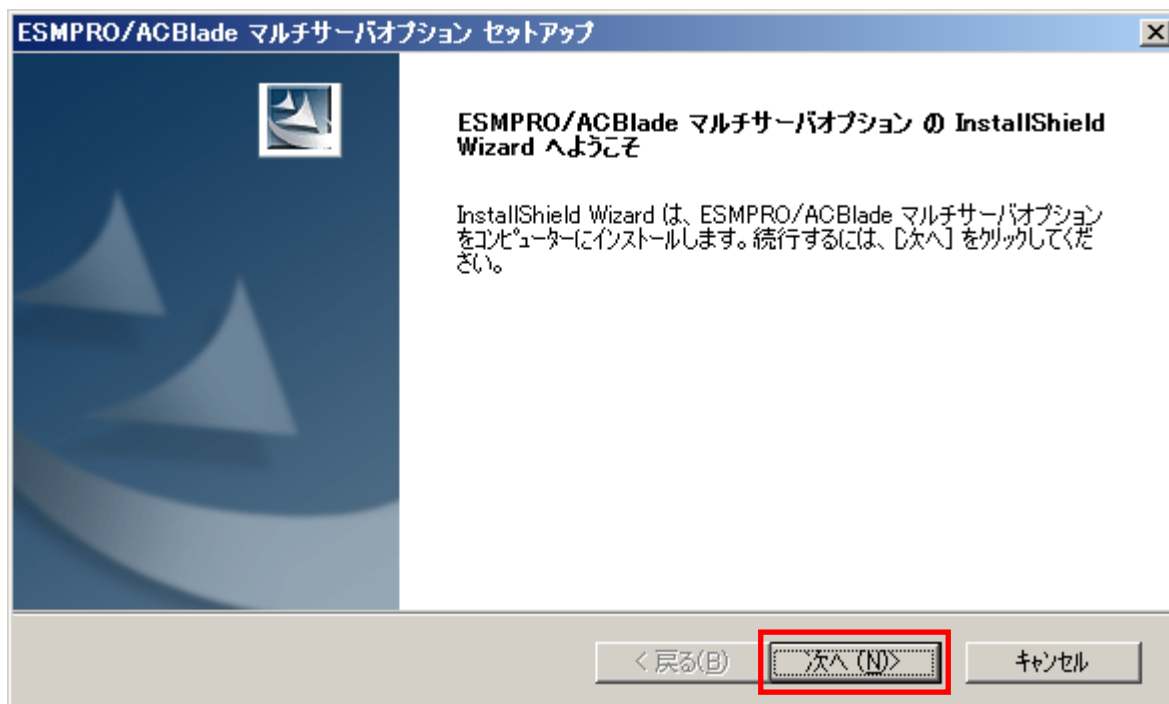


- (4) 「実行」ボタンを選択します。

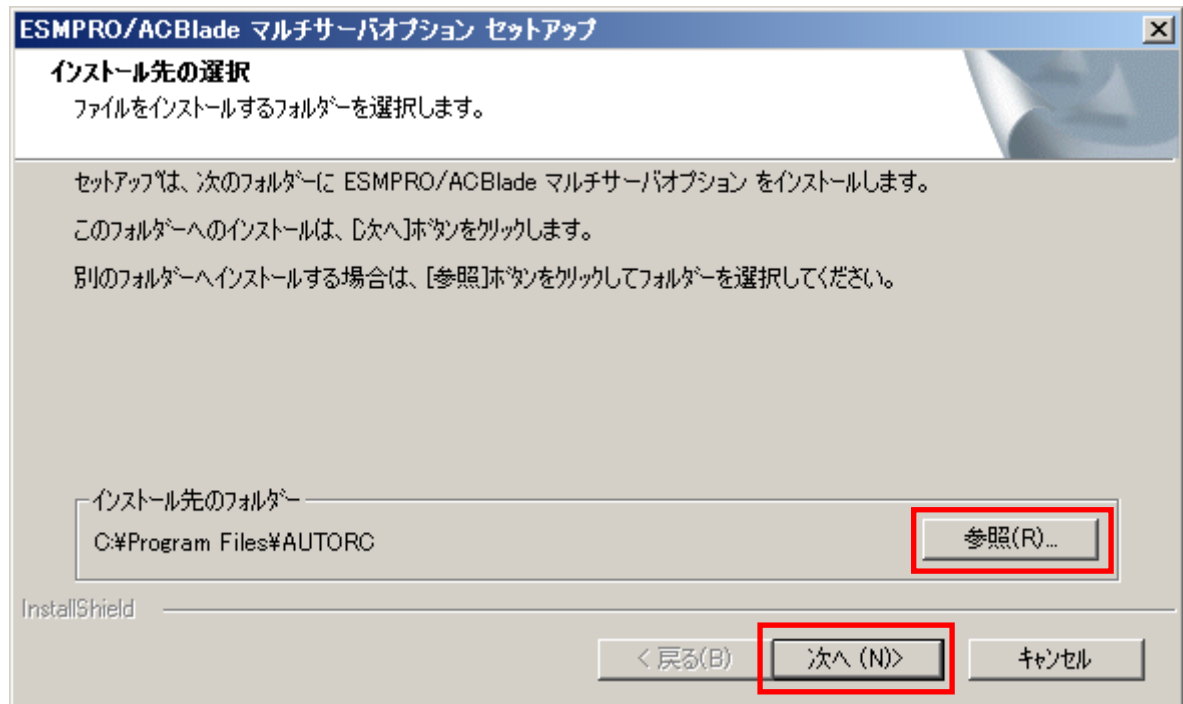
- (5) 選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。



- (6) ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのセットアップが開始されますので、「次へ」ボタンを選択します。

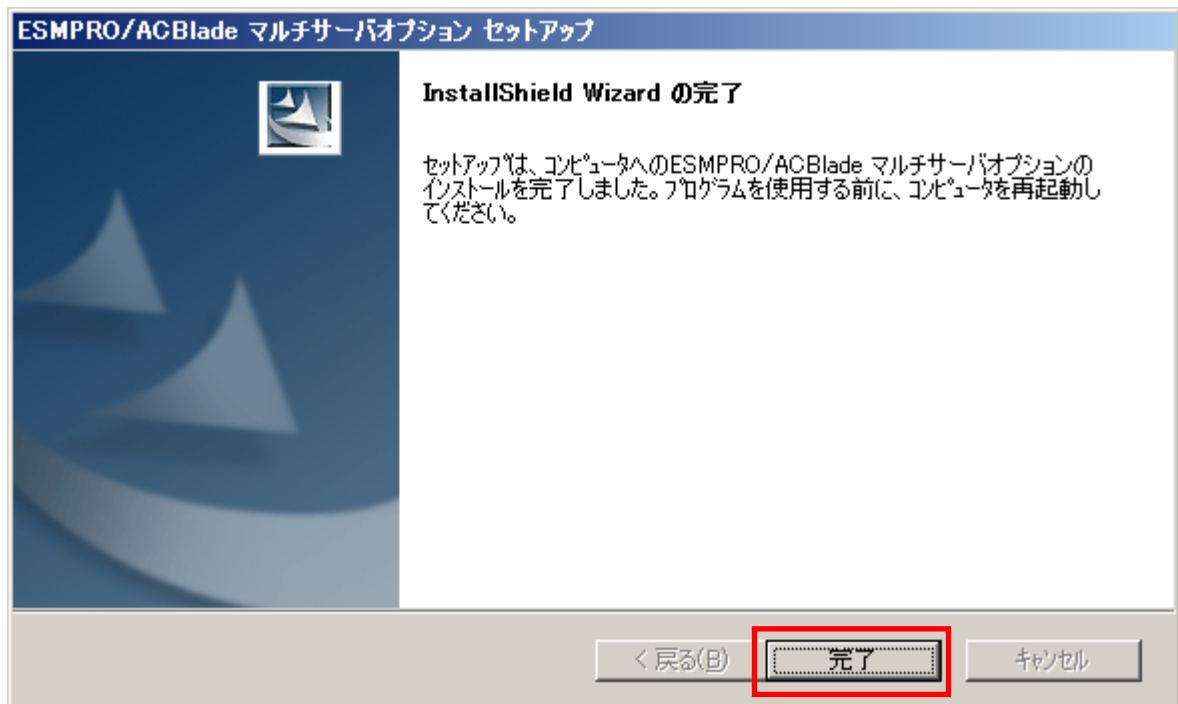


- (7) 続いて、インストール先を選択します。表示されているフォルダとは別のフォルダにインストールする場合は、「参照」ボタンをクリックしてインストール先のフォルダを選択します。インストール先が決定したら、「次へ」ボタンを選択します。



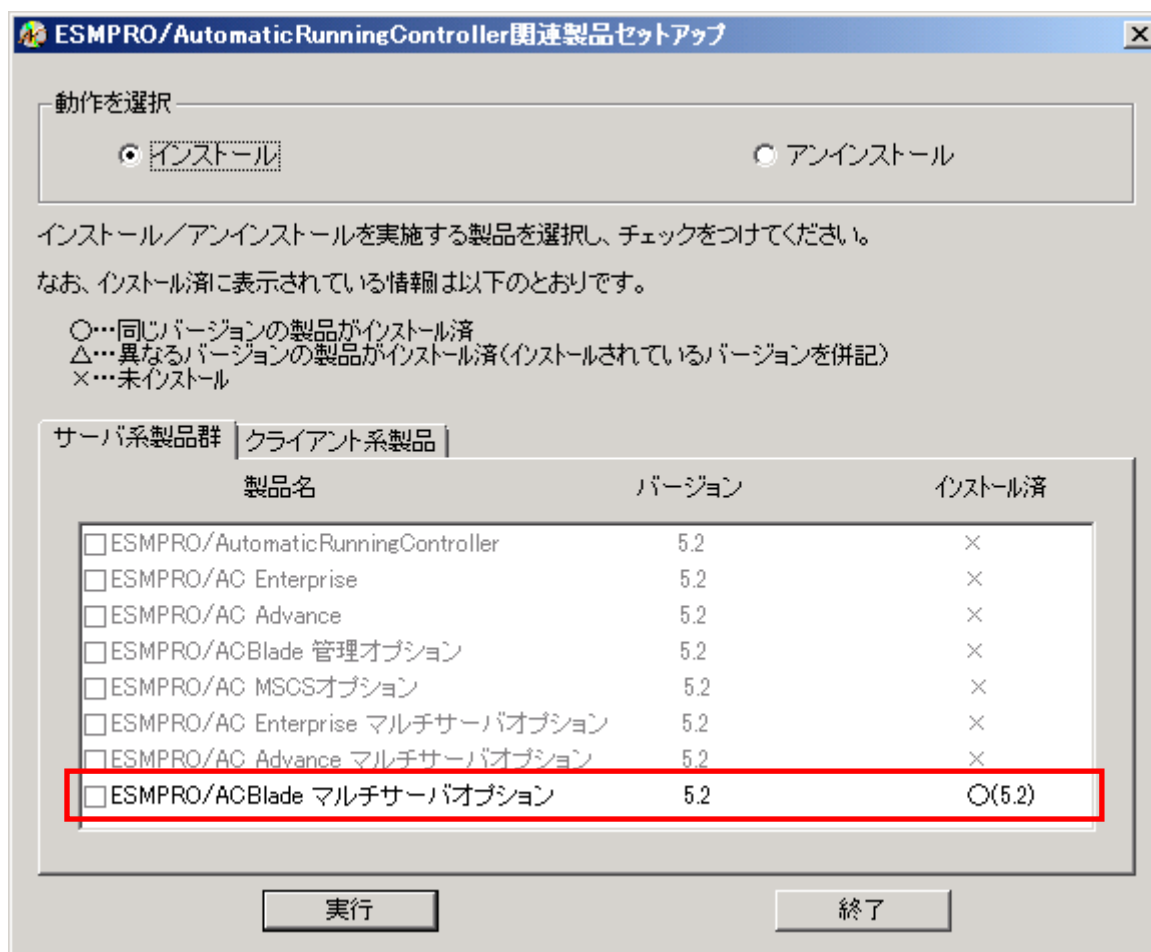
- (8) ファイルの転送が開始されます。

- (9) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。



- (10) 最初の画面に戻り、ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのインストール済欄に○およ

びバージョンが表示されていることを確認します。



(1 1) インストール後は、Setupac.exe を終了してシステムを再起動してください。

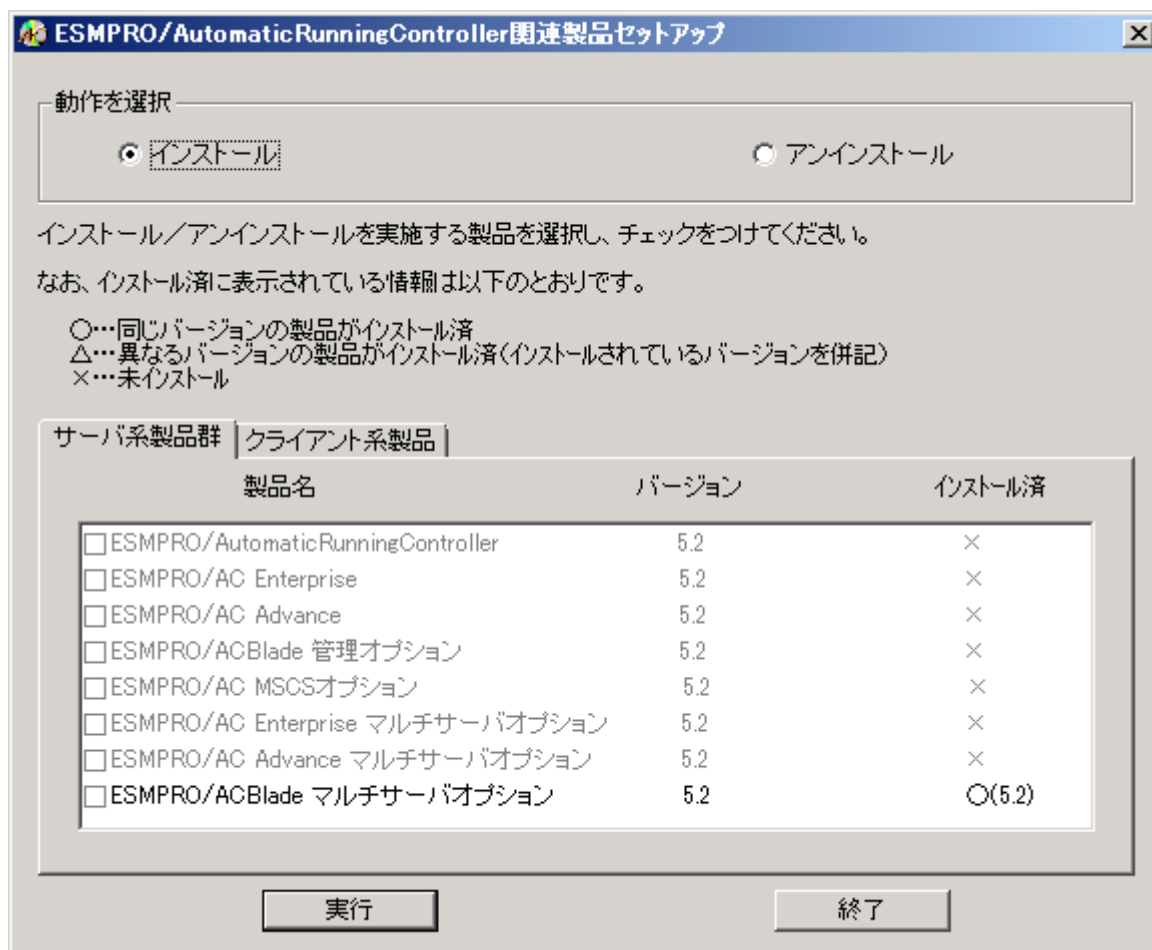
(1 2) 再起動完了後、ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのライセンスキーを登録してください。ライセンスキーの登録は、ESMPRO/ACBlade 管理オプションをセットアップした制御端末上の[スタート] → [すべてのプログラム] → [ESMPRO/AutomaticRunningController] → [ESMPRO_AC ライセンス]から行ってください。
ライセンスキーの登録方法については、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのセットアップカードを参照してください。

注意

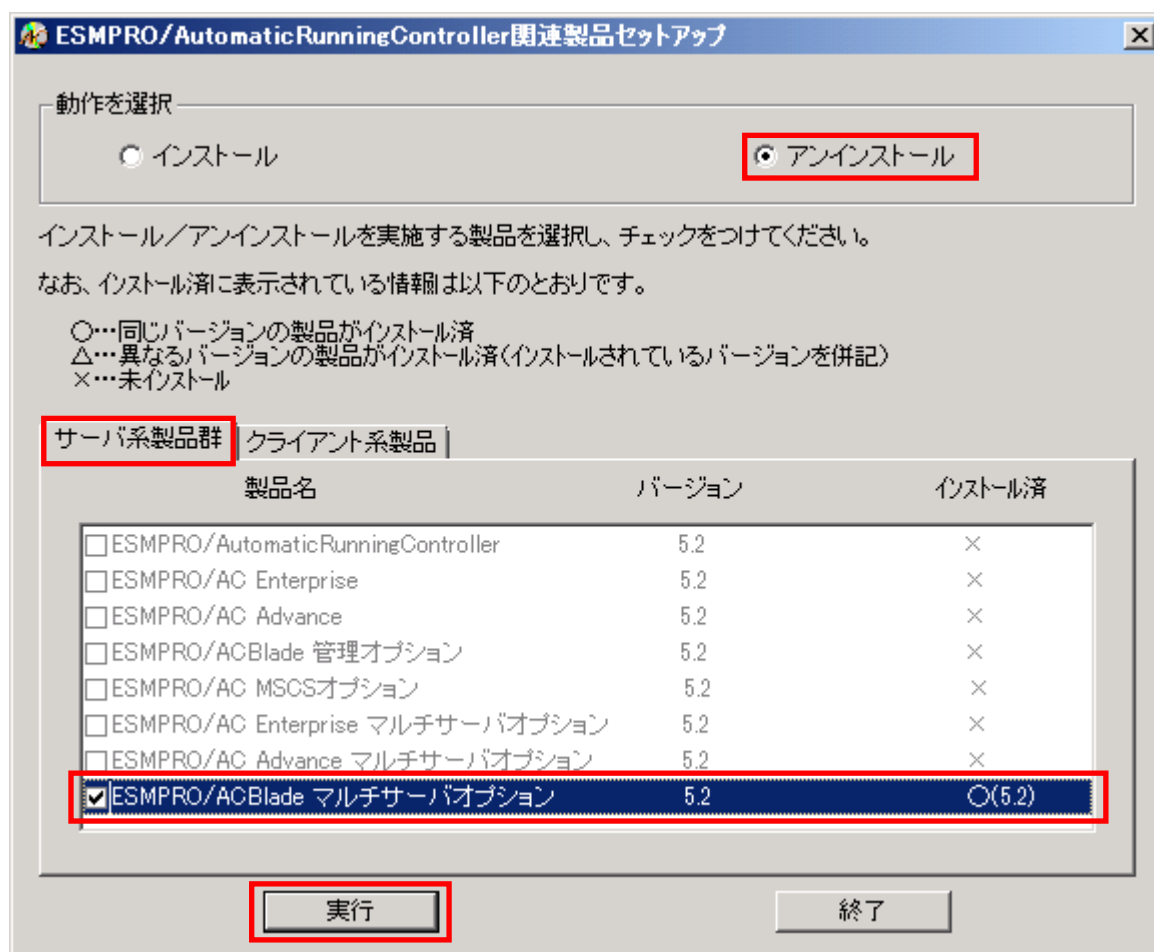
- バージョンアップセットアップの場合は、上記(6)～(7)の手順が省かれ、インストールが実行されます。インストール先を変更することはできません。また、バージョンアップセットアップでは、これまでの運用で設定した情報を保持したまま、モジュールのコピーを行います。
- セットアップの実行中に<終了>及び<キャンセル>ボタンを押すと、セットアップ中止の確認のメッセージが表示されます。そのメッセージボックスで<終了>ボタンを押すと、セットアップは中止されます。その場合、途中まで転送されたファイルの削除は行われませんのでご注意ください。

3.2 ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのアンインストール

- (1) インストールを行ったAdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータにログオンし、ラベルに『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.2』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

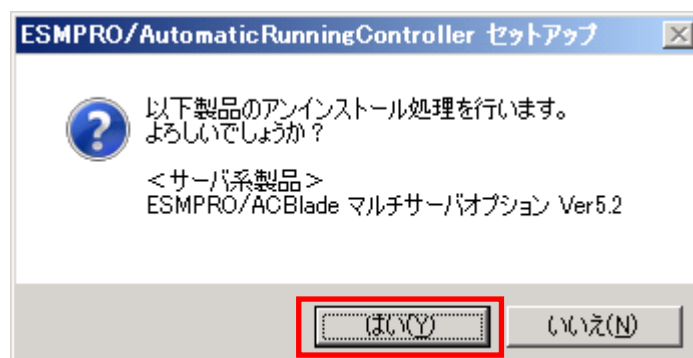


- (3) 「動作を選択」のラジオボタンで「アンインストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中からESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションを選択し、チェックを有効にします。



- (4) 「実行」ボタンを選択します。

- (5) 選択した製品のアンインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

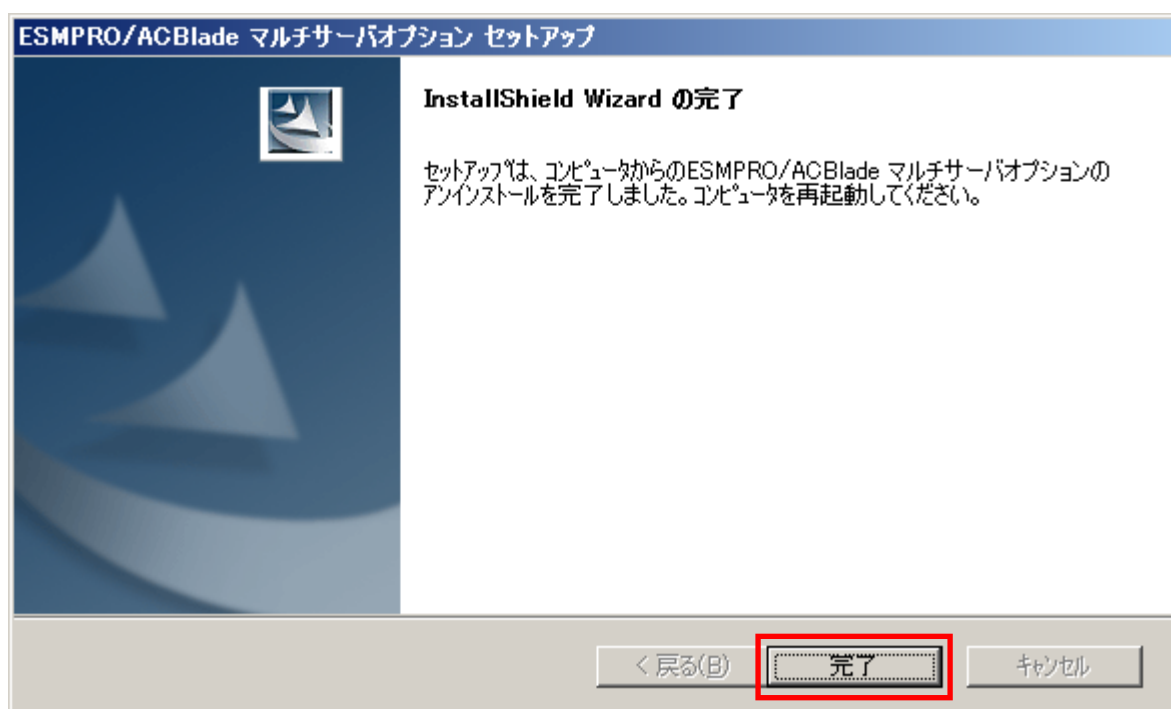


- (6) インストーラが起動され、もう一度確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

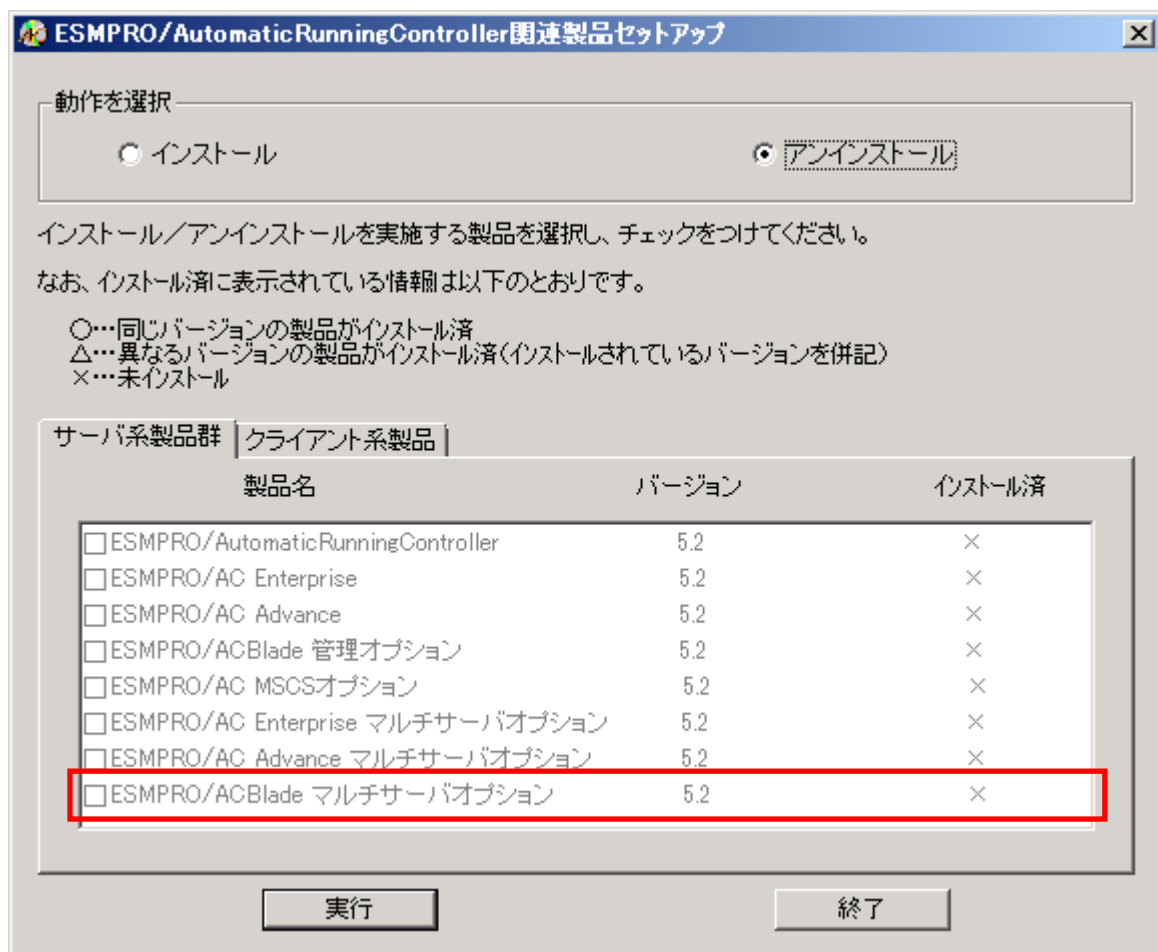


- (7) ファイルの削除が行われます。

- (8) 次の画面が表示されたら、アンインストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。



- (9) 最初の画面に戻り、ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのインストール済欄に×が表示されていることを確認します。



- (10) アンインストール後は、Setupac.exe を終了してシステムを再起動してください。

第4章 DeploymentManager を使ったインストール方法

DeploymentManager のアプリケーション自動インストール機能を使用すると、ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションをインストールすることができます。

以下、DeploymentManager で使用するインストールパッケージの作成手順を説明いたします。
DeploymentManager 操作手順の詳細については、「DeploymentManager オペレーションガイド」を参照してください。

注意：

DeploymentManager を使用して自動インストールを行った場合、インストールしたパッケージに含まれる製品のライセンスキー登録が別途必要となります。

ライセンスキーの登録は、制御端末パッケージをセットアップしたサーバ上の[スタート] → [すべてのプログラム] → [ESMPRO/AutomaticRunningController] → [ESMPRO_AC ライセンス]から行ってください。ライセンスキーの登録方法については、ESMPRO/AutomaticRunningController のセットアップカードを参照してください。

- (1) 「ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.2」CD-ROM 媒体を CD-ROM ドライブにセットしてください。
- (2) 「DeploymentManager」→「イメージビルダ」を起動します。
- (3) パッケージの登録／修正を選択します。
- (4) 「ファイル」→「Windows パッケージの作成」を指定します。
- (5) 「基本」タブに情報を入力します。
タイプは必ず”アプリケーション”を指定してください。以下、登録例を示します。

(例)

＜連動端末の場合＞

パッケージ ID : Slave-Win
会社名 : NEC
リリース日付 : 2015/12/24
パッケージ概要 : ESMPRO/AC 5.2 連動端末(Windows)
タイプ : アプリケーション
緊急度 : 一般
表示名 : ESMPRO/AC5.2 連動端末(Windows)
表示バージョン : 5.20

- (6) 「実行設定」タブに情報を入力します。
 - 「コピーするフォルダ」グループの設定
フォルダ名には CD-ROM ドライブ直下を指定し、「追加」ボタンを選択します。
CD-ROM ドライブ:¥
 - 「インストール」グループの設定
実行ファイル
以下のモジュールを指定します。
CD-ROM ドライブ:¥acsetup.exe

セットアップパラメータ
以下のセットアップパラメータを指定してください。
-ACBM

- (7) 「対応 OS と言語」 タブに、以下の情報を入力します。

OS : ALL OS

言語 : Japanese

- (8) 「OK」 ボタンを選択し、「Windows パッケージの作成」画面を終了します。ここまでの操作により、DeploymentManager に ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのパッケージが登録されます。
- (9) DeploymentManager を起動し、(8)までの操作で登録したパッケージ ID を指定してシナリオを新規作成してください。これで登録作業は完了です。

第5章 注意事項

ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのご使用にあたり、次の事項にご注意ください。

5.1 セットアップ関連

- (1) ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションVer5.2は、ESMPRO/AC Enterprise Ver5.2、ESMPRO/ACBlade 管理オプション Ver5.2 のオプション製品です。従って、ESMPRO/AC Enterprise Ver5.2、ESMPRO/ACBlade 管理オプションVer5.2をインストールし、AC Management Console (AMC) 機能にて、本サーバを制御対象として登録してある制御サーバが LAN 上に必要です。設定方法の詳細については「ESMPRO/ACBlade 管理オプションVer5.2 セットアップカード」、 「ESMPRO/AC Enterprise Ver5.2 セットアップカード」を参照してください。
- (2) 本バージョンの ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションは、JIS2004 で新規追加された文字に対応しておりません。そのため、インストール時のインストールパスや、GUI 操作において、JIS2004 の新規追加文字が含まれるパス情報は指定、入力しないでください。
- (3) 連動端末として Express5800/BladeServer シリーズに ESXi をインストールし、ESMPRO/ACBlade 管理オプションによる電源管理/自動運転を行う場合、以下の注意事項があります。
 - VMware ESXi の電源制御を行う際、VMware ESXi に使用するライセンスに条件が発生します。ESXi Hypervisor エディション等の無償版ライセンス製品では、電源制御が行えません。Standardエディションなど有償ライセンス製品をご利用ください。
 - 仮想サーバ(ESXi)および(ESXi上で動作する)仮想マシンには、電源制御ソフトウェアのインストールは不要です。制御端末のライセンス管理ツールにて ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのライセンスキーを登録してください。

5.2 共有フォルダ関連

Windows マシンにインストールした ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションでは、ネットワーク機能を提供するために、以下の共有フォルダを設定しています。

フォルダ名	共有名	デフォルトのアクセス権
(インストールフォルダ)\¥DATA	ARCDATA	Administrators フルコントロール

「ARCDATA」の共有フォルダは、ESMPRO/AutomaticRunningController + ESMPRO/AC Enterprise + ESMPRO/ACBlade 管理オプションがインストールされたサーバ上の GUI からリモート接続する場合に使用します。

5.3 ウィルススキャンソフト関連

ウィルススキャンソフトがインストールされた環境で運用される場合は、以下のファイルをスキャン対象外に設定してください。

ESMPRO/ACBlade 管理オプションのインストールディレクトリの DATA 配下にある SCHEBASE.APC

例) インストール先が C:\Program Files (x86)\AUTORC の場合

C:\Program Files (x86)\AUTORC\DATA\SCHEBASE.APC
をスキャン対象外に設定